

きこえの部屋だより

夏場の補聴器・人工内耳の管理

季節が進み、じめじめとする日が増えましたね。汗をかいたり、突然の大雨が降ったり、水遊びをしたりと補聴器や人工内耳の大敵である汗や水がより身近になるこの季節。毎日の管理がとても大切になってきます。この夏を楽しく過ごすために、夏場の補聴器・人工内耳の管理のポイントをお伝えします。



①タオルでこまめに汗を拭く

汗には塩分が含まれています。流れた汗が補聴器・人工内耳の本体の隙間から内部に入ることによって故障の原因になることがあります。補聴器・人工内耳周辺の汗をこまめに拭き取ってあげたり、自分で拭き取るよう伝えてあげたりしてあげてください。市販の汗カバーを使うことで、汗が直接内部に入ることを防ぐこともできるので使用するのもよいと思います。ただ、汗カバーがびしょびしょになってしまうと効果はなくなってしまうので、カバーをつけたとしても汗の拭き取りやカバーの交換をするなど気にかけてくださいね。また、補聴器の場合、汗のついた手で電池交換をすると、電池に汗がつき、そこから錆が広がるということもあります。電池を乾いた布やティッシュなどで拭いてから入れるなどの対策もしてくださいね。

②毎日、乾燥機でしっかり乾燥させる

乾いた柔らかい布等で拭いてから乾燥機に入れます。人工内耳は送信ケーブルを外さずに汗や水分をしっかり拭き取ってください。外してしまうとサウンドプロセッサ内に汗や水分が入り接続端子が錆びる原因になることがあります。

補聴器の場合は、電池を外して入れます。できれば、電池や電池ボックスの中も乾いたティッシュや綿棒等で拭いてから乾燥させましょう。

乾燥剤を定期的に交換することも忘れずにお願いします。

③水遊びの際は

人工内耳の場合はアクアアクセサリーを使用する場合がありますが、補聴器の場合は外して遊ぶことになると思います。外した補聴器・人工内耳は専用のケースに入れるか、100円ショップなどのタッパー等に入れましょう。入れた補聴器・人工内耳が持ち運びの際にぶつからないよう、クッション代わりに乾いたガーゼや綿を敷いておくといでしょう。

遊びの後は、綿棒等で耳の中の水分を取りましょう。補聴器のお子さんは耳の中に水が残ると20～30 dB くらい聞こえにくくなってしまいます。また、補聴器・人工内耳が濡れないように髪の毛をしっかり乾かすことも大切です。特に髪の毛の長いお子さんはしっかり拭いて乾かしてあげてください。

もうすぐ、夏休みがやってきます。機器の異常や心配なことがあれば、私たちや補聴器店、病院等に相談し、点検してもらうようにしてください。補聴器・人工内耳の管理をしっかり行い、夏ならではの体験をお子さんと一緒に楽しんでくださいね!!

